



世田谷区教育委員会御中

2022年9月9日

英語スピーキングテスト（ESAT-J）の中止と、ESAT-Jの結果を都立高校入試に導入することの見送りを、都教育委員会に働きかけることを求める請願

都立高校入試英語スピーキングテストに

反対する保護者の会@世田谷

代表 [REDACTED]

日頃から世田谷区の教育施策にご尽力いただきありがとうございます。

東京都教育委員会（以下都教委）は11月27日（日）、都内全公立中学3年生に対して民間事業者による英語スピーキングテスト（ESAT-J）を実施し、それを2023年都立高校入試の合否判定に導入する準備をすすめています。しかしそこには、以下に示したいくつもの問題点があります。このままESAT-Jを実施し、それを入試に導入していくならば、受験生に混乱を持ち込むことは必至です。

人生を左右することもある入試の公平・公正性に欠けており、受験生の人権を踏みにじるものだと言わざるを得ません。

（問題点）

1、すでにテストまで3ヶ月をきったにもかかわらず、都教委は情報を小出しにしてまともに説明していないことから、生徒・家庭に対する説明が不十分である。

2、ESAT-Jの結果は来年1月中旬に出る予定。例年志望校を決める2学期中（年内）の三者面談に間に合わない。志望校決定後、ESAT-Jの結果が出てから志望校の変更があるならば、受験生、保護者にとって非常にストレスがかかる。約2週間で進路変更し願書提出が間に合うのか。

3、ESAT-Jの結果は開示請求ができない。受験生は何を間違えたかもわからず英語の向上に繋がらず、採点ミスなのかどうかもわからない。

4、ESAT-Jの素点は100点満点で、その点数に基づき6段階の評価がつき、さらに評価ごとに4点刻みで換算される。ケースによってはテスト1点の差で換算点の差が4点になる場合が出てくる。1点の差で合否が決まる入試において、この換算点のつけ方はふさわしくない。

5、ESAT-Jの不受験者（国立・私立中学生や東京以外の中学生など）の点数は、同じ高校の学力（筆記）検査で同点である他者のESAT-Jの結果の平均で出される。学力検査得点とスピーキングテストの換算点に相関関係があるなら、そもそもスピーキングテストは必要ない。入試において他者の結果で評価されることはあるはず、場合によっては不受験者の順位が学力検査上位の受験生の総合得点を逆転する可能性すらあることは、不公平きわまりない。

6、ESAT-Jと類似のベネッセの英語テストGTECを実施している自治体があり、類似のテス

トをやっている生徒が有利になる可能性がある。世田谷区は実施していない。居住地によって格差が生じている。

7、ESAT-J 対策として塾に通ったり、そっくりな GTEC の受検をする生徒もいる。経済的に余裕のある家庭、そうでない家庭の教育格差を助長する。

8、都教委から十分な説明がないまま、顔写真付きの個人情報のオンライン登録が 9 月 6 日にしめ切られた。そして理由もはっきりしないまま、9 月 13 日から 22 日まで登録募集が再設定されている。都教育委員会が実施し、公立中 3 年生全員が対象であるにもかかわらず、一企業のベネッセのサイトに申し込みなければいけないのか。過去の情報漏洩問題から不安を抱く保護者や受験生の声に、責任をもって対処できるのか。規約では受験生が保護者の同意を得ていなかった場合、「…申し込みの手続きが完了しないことがあります。…理由は通知されません。…被った損害については、利用者本人が負うものとし、東京都教育委員会及び事業者は一切の責任を負いません。…ご同意いただける方は…チェックを入れてください」とある。これでは「契約」であり、とても教育の一環とは思えない。

9、テストは当日に前半と後半の受験者に分けられ、タブレットは使い回しされる。同じ問題のため情報漏洩が起きたり、トラブルによって吹き込んだ回答が消されるおそれがある。

10、5 教科で評価 5 をとると調査書点は一教科約 23 点だが、英語だけは ESAT-J の換算得点が最高段階の A だと 20 点が加わり 43 点になる。15 分程度のテストの結果をもとに、「英語だけ重視」でよいのか。

ESAT-J はまだここには書ききれないほどの問題や不安な点が山積みしています。中学校の現状を調査し、本当にこのまま ESAT-J を実施してよいのか、区教育委員会の定例会において、生徒のために真剣な検討をしていただきたいと、切に要望するものです。

請願項目

1、都教育委員会に対し ESAT-J を中止する英断を下し、仮に実施した場合も、都立高校入試への導入を見送るよう、働きかけてください。

2、区下の中学校での ESAT-J の登録などの現状や、高校入試の進路指導が円滑におこなわれる見通しなどを、中学の先生たちに聞き取り調査し、都教育委員会に現場の詳しい実態を伝えてください。

以上